

別紙 1

教職員の時間外在校等時間縮減に効果の高い市町村の取組状況調査表

市町村名	阿見町
------	-----

1 時間外在校等時間の状況（市町村立学校の平均値）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
小学校	28 : 06	36 : 31	44 : 58	48 : 53	35 : 50	45 : 49	31 : 25
中学校	37 : 12	48 : 01	51 : 02	59 : 22	52 : 28	62 : 14	44 : 17

2 教育委員会が実施（主導）する効果が高い取組の概要

【学校業務の削減・縮減に関する取組】（アウトソーシングを含む。）

- ・統合型校務支援システム及びＩＣＴ機器の導入を図った。（H29～導入）
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、生徒指導支援員の配置を行った。（町独自で予算化し、児童・生徒・保護者等の相談に対応し、教職員の負担を軽減している。）
- ・各中学校に不登校対策室を設置し、不登校対策指導員を配置した。（３名配置。生徒・保護者・教職員の相談に対応し、担任の負担軽減につなげている。）
- ・各種研究事業等の適正化を実施した。（教育研究会指定発表の簡略化等）
- ・学校閉庁日を設定（年間11日）している。
- ・町の部活動方針の策定を図り、学校業務の削減につなげている。（H30 10月策定 時間短縮・複数顧問制等を策定）
- ・留守応答機能付き電話機を設置した。（H30 11月～導入：時間外の緊急時連絡は役場で対応）
- ・町共同学校事務室を設置している。（H30～事務の効率化を図り、事務職員の負担軽減につなげている。）
- ・給食費の公会計化を図った。（R4～導入予定）
- ・町サーバーを設置し、指導案、板書計画、教材等の共有化を図っている。
- ・二学期制の導入を図った。（R3～）
- ・町内中学校の下校時刻を最長18時に設定している。（R1～）

【教職員の意識改革に関する取組】

- ・全校へタイムカードを導入し、個々の超過在校等時間の状況を基に、指導・助言に活用している。
- ・町教職員の働き方改革プロジェクトチームを発足した。（校長会・教頭会・教務主任会と町教委が連携を図り、働き方改革に具現化に向けて情報共有・意見交換を推進し、教職員の意識改革につなげている。）
- ・部活動の適正化に向けた取組を行っている。（全中学校で、複数顧問による部活動指導交代制の活用を図り、定時退勤日・休日の設定をしている。部活動数の削減を視野に、効率的な運用を検討している。）
- ・町全体での日課表の変更を検討している。（令和４年度から実施予定）

- ・毎月の超過在校等時間集計状況を、校長会、教頭会、教務主任会で共有し、各立場から課題解決に向けて方策を具現化する体制を整えている。
- ・管理職の教員評価面談で、各学校の働き方改革の課題や目標等について確認し、状況に応じて指導・助言を行っている。